

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 29日

（報告先）
横浜市長

住所 横浜市泉区西が岡1-28-1

氏名 社会福祉法人 親善福祉協会
理事長 山下 光

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	社会福祉法人 親善福祉協会 理事長 山下 光				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市泉区西が岡1-28-1				
主たる事業の業種	大分類	P 医療、福祉			
	中分類	85 社会保険・社会福祉・介護事業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	2,516	kl	自動車の台数	台

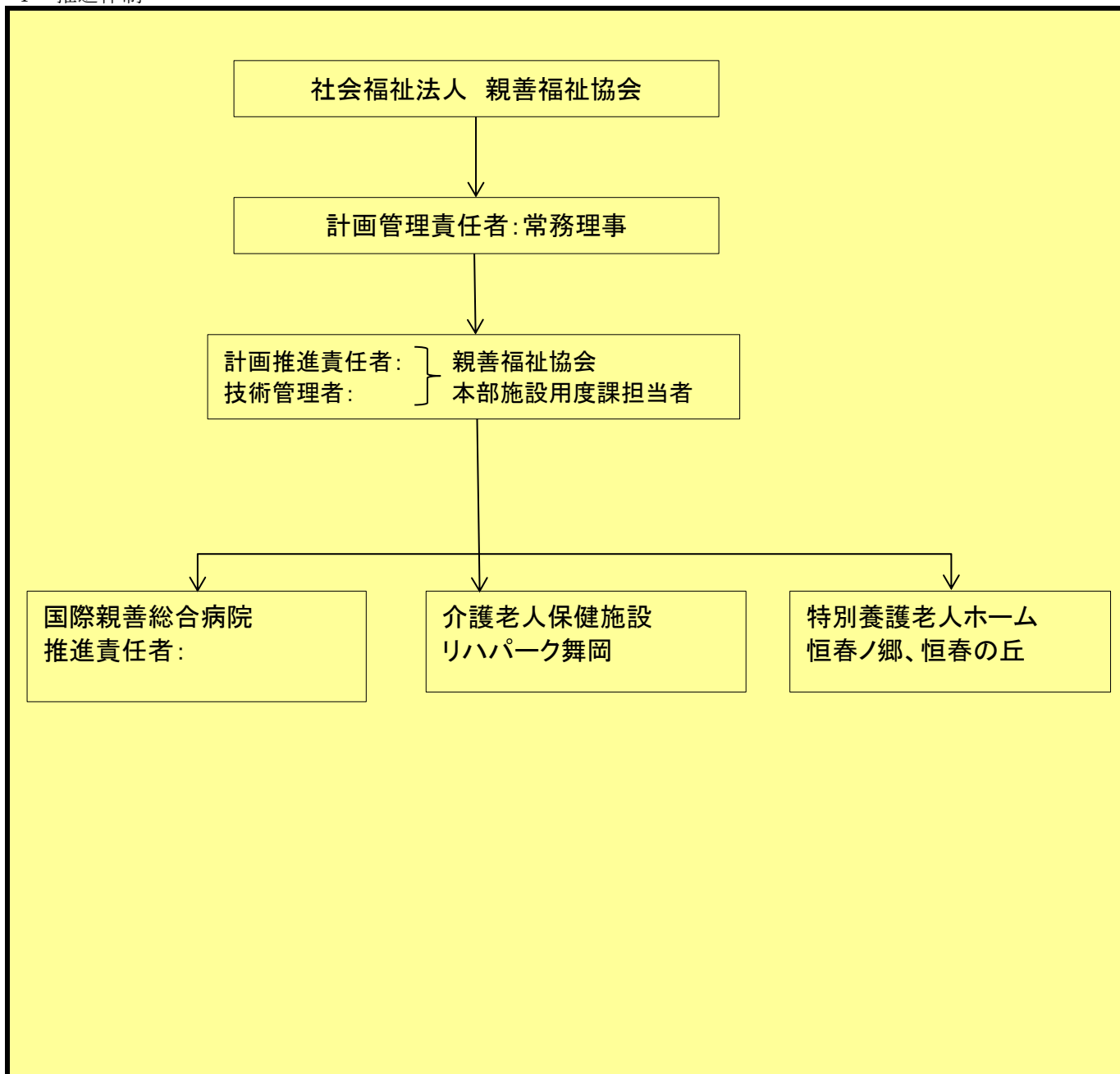
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

エネルギー使用設備である空調設備、照明設備、昇降機、ボイラ、熱源機器等について、エネルギー使用の合理化の観点から①省エネ管理基準を作成し実地する。②主要機器の熱源機器及び空調機の修繕計画について計画を作成し実地する。
③病院において、ESCO事業者を決定して省エネルギー及びCO2削減を目指していたが、新たに平成28年度から病院の再整備工事が本格的に開始となったため中止となり、再整備工事の中で熱源機器を新替えるなど省エネルギーとCO2削減を計ることとなった。（再整備工事は平成30年3月31日で完了予定です。）

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	国際親善総合病院
	所在地	横浜市泉区西が岡1-28-1
	閲覧可能時間	13時～16時（土曜・日曜祭日を除く平日）
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	6,287	t-CO ₂			基準原単位	161.91	t-CO ₂ / 千㎡
	調整後	6,169	t-CO ₂			目標原単位	155.37	t-CO ₂ / 千㎡
目標年度 (2018年度)	目標排出量	6,100	t-CO ₂	削減率	3.0 %	削減率	4.0 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>国際親善総合病院の熱源設備及び空調機を病院再整備事業の中で更新及び見直しを実施して目標値を設定する。 ①老朽化したボイラー設備を最新の機器に更新し蒸気使用場所管理を徹底する。 ②空調機を個別電気式空調機に更新する。 ③レジオネラ対策として給湯設備を一部見直し、貯湯式から個別電気温水器に改修する。</p>							
事業者全体としての目標等	なし							
第一年度 (2016年度)	排出量	6,125	t-CO ₂	削減率	2.6 %	排出原単位	177.10	t-CO ₂ / 千㎡
	調整後	5,956	t-CO ₂	削減率	3.5 %		削減率	▲ 9.4 %
目標等の達成状況及び説明	レジオネラ対策のため給湯栓の強制ブローを実施しているためガス・水道の使用量が削減できなかったと思われる。また冷温水発生器が不調で、余分なガスを使ったことが原因と思われる。							
第二年度 (2017年度)	排出量	5,425	t-CO ₂	削減率	13.7 %	排出原単位	156.86	t-CO ₂ / 千㎡
	調整後	5,274	t-CO ₂	削減率	14.5 %		削減率	3.1 %
目標等の達成状況及び説明	再整備工事において、ボイラー3台と冷温水発生機2台を廃止し、新しい省エネタイプのボイラー2台と冷温水発生機2台に更新したので、大幅にガス使用量が削減できたのが削減率アップにつながったと考えます。							
第三年度 (2018年度)	排出量	5,079	t-CO ₂	削減率	19.2 %	排出原単位	131.90	t-CO ₂ / 千㎡
	調整後	4,926	t-CO ₂	削減率	20.1 %		削減率	18.5 %
目標等の達成状況及び説明	国際親善総合病院本館の再整備工事を行い空調や熱源機器を最新の省エネ設備に更新したこと、またガスが燃料となる設備を減らし電化を進めたこと、更に運用による省エネ（クールビズやウォームビズ、照明の間引きや減灯）を進めた。レジオネラ菌が発生しないよう塩素濃度管理を徹底して行った結果、給湯の強制ブロー量を大幅に削減できた。2018年度末には特養および老健の照明をLED照明に更新したため、少々ではあるが節電に寄与している。それらの結果として、排出量を大きく減らすことができたと考えます。							
計画期間全体の排出状況に関する説明	国際親善総合病院再整備工事によって、 ①老朽化したボイラー設備を更新し、また蒸気の使用箇所を選別して少なくした。 ②空調機を個別電気式空調機に更新し、最新設備で省エネに寄与できた。 ③レジオネラ対策として給湯設備を貯湯式から個別電気温水器に改修した。 これにより目標排出量を超える数値を達成できたと考えます。							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	4,339	1	4,100	1	3,347	1	3,122
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満	3	1,948	3	2,025	3	2,078	3	1,957
合計	4	6,287	4	6,125	4	5,425	4	5,079

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度						
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	4/4	—	年度	再整備工事は平成28年4月から平成30年3月31日まで	実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	1/4	—	2018年度	病院再整備工事で更新した機器から台帳整理する	実施中	3/4	—	2018年度	病院再整備工事で更新した機器から台帳整理している。	実施中	3/4	—	2020年度	再整備で新たに設置した機器を含めて中長期計画の策定を検討している	
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	1/4	—	2018年度	病院再整備工事でHF蛍光灯とLED照明に更新予定	実施済	4/4	—	年度	病院再整備工事でHF蛍光灯とLED照明に更新した	実施済	4/4	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施中	0/1	—	2018年度	病院再整備で更新した設備で作成する	実施済	1/1	—	年度	照明改修工事図面提出	実施済	1/1	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	/	—	年度	空気環境測定対象外	非該当	/	—	年度	空気環境測定対象外	非該当	/	—	年度	空気環境測定対象外	
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	1/4	—	2018年度	職員だけの居室から管理する	実施中	2/4	—	2018年度	職員だけの居室から管理している。	実施済	4/4	—	年度	推奨温度を決めて推進している	
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	/	—	年度	地下駐車場なし	非該当	/	—	年度	地下駐車場なし	非該当	/	—	年度	地下駐車場なし	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	0/4	—	2018年度	病院再整備事業の中で完了させる	実施済	4/4	—	年度	病院再整備事業の中で完了させた	実施済	4/4	—	年度		
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度		実施済	4/4	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	実施済	8/8	(設備の種類) 8/8	年度		実施済	4/4	(設備の種類) 4/4	年度	ボイラー更新2台へ、冷水機更新2台へ。	実施済	4/4	(設備の種類) 4/4	年度		
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	4/4	(設備の種類) 4/4	年度		実施済	2/2	(設備の種類) 2/2	年度	冷水機更新2台へ。	実施済	2/2	(設備の種類) 2/2	年度		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済	4/4	(設備の種類) 4/4	年度		実施済	2/2	(設備の種類) 2/2	年度	ボイラー更新2台へ。	実施済	2/2	(設備の種類) 2/2	年度		
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施済	4/4	(設備の種類) 4/4	年度		実施済	2/2	(設備の種類) 2/2	年度	ボイラー更新2台へ。	実施済	2/2	(設備の種類) 2/2	年度		
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施中	10/10	(設備の種類) 10/10	年度	蒸気配管の保温剤(ガラスウール)等は取付済み	実施済	10/10	(設備の種類) 10/10	年度		実施済	10/10	(設備の種類) 10/10	年度		
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	/	(設備の種類) /	年度	設備無し	非該当	/	(設備の種類) /	年度	設備無し	非該当	/	(設備の種類) /	年度	設備無し	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	/	(設備の種類) /	年度	設備無し	非該当	/	(設備の種類) /	年度	設備無し	非該当	/	(設備の種類) /	年度	設備無し	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	/	(設備の種類) /	年度	設備無し	非該当	/	(設備の種類) /	年度	設備無し	非該当	/	(設備の種類) /	年度	設備無し	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度				
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度			
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度			

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		%													
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
														千円	
														千円	
														千円	
														千円	
														千円	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	太陽光発電設備	2013年度	発電出力49.9kW	恒春の丘太陽光発電所発電量51,048kWh(2018年度実)
2	太陽光発電設備	2013年度	発電出力49.9kW	リハパーク舞岡太陽光発電所発電量49,850kWh(2018年度実)
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	再エネの利用	2018年度	横浜市内事業所	34	太陽光発電（全量売電）
2	電気使用のクレジット	2018年度	横浜市内事業所	119	オリックス株、東京電力エジューパーター（株）
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	病院再整備事業の一環として、照明設備・空調設備・ボイラ・熱源機器等を最新のエネルギー効率のよいものに改修する。
計画期間内に実施する対策	病院再整備事業の一環として、照明設備・空調設備・ボイラ・熱源機器等を最新のエネルギー効率のよいものに改修する。
第一年度実績	レジオネラ対策のため給湯栓の強制ブローを実施しているためガス・水道の使用量が削減できなかったと思われる。
第二年度実績	レジオネラ対策のため給湯系統だけでなく、給水系統の強制ブローも必要であるが、朝方ブローする給水栓の数を、受水槽から一番離れている給水栓3ヶ所のみに変更した。（レジオネラ防止のためには、夜間に滞留した水を出来るだけ使わせないことが、大切です。）また、ブローする時間も、6分から4分に削減して、水道使用量を削減した。
第三年度実績	省エネを意識した空調の運用、照明の間引きや減灯、LED機器への更新により削減した。

14 実施状況等に対する自己評価

設備の大規模更新を行ったことにより当初目標より大幅にCO2排出を抑えることができた。大規模な改修は完了したため、今後は運用面を中心にして効率的な運転や節電を意識した運用を行っていきたい。